

[様式2]

杉並区立杉並和泉学園

令和2年度 バスケットボール部の活動方針・活動計画

令和2年8月4日

1 指導体制

顧問教諭等氏名		外部指導者氏名	資格等や経験	頻度
顧問	師岡 真一 主任教諭	大貫 宏次朗 (杉並区部活動活性化事業)	JBA 公認D級 コーチ	週3
顧問	都木 求枝 主幹教諭			
顧問				

2 部員数 7年 15名 8年生10名 9年生8名 合計33名

(令和2年7月末現在)

	男	女	合計
7年	10	5	15
8年	6	4	10
9年	6	2	8
合計	22	11	33

3 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた生徒像

○チームの一員であるという意識のもと、どのような状況でも前向きにチャレンジし続け、「3C」Create・Communicate・Challengeの精神を高める。

○互いを認め、互いに励まし競い合うことを学び、バスケットボールを通して、仲間と共に活動する社会性を身につける。

(2) 大会などの到達目標

区大会、ブロック大会等の公式戦において、正々堂々と戦い一勝をめざす。

4 活動方針

(1) 生徒の自主性・自発性を大切に活動を行う。

(2) 生徒間の暴力、教員の体罰等のないようにし、部員が毎日の部活動を待ち望む活動を行う。

(3) 各教科等への学習意欲や責任感、連帯感の涵養等を目指した活動を行う。

(4) 運動部活動において、生涯に渡り、心身の健康を保持・増進し、明るく豊かなスポーツライフを実現しようとする態度等を育む。

5 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導者、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(3) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

6 活動計画

(1) 活動日：月・火・木・金・土曜日、大会は日曜日になることが多い。

(2) 活動時間： 平日 16:00～18:00 (2時間)

休日 9:00～12:00 (3時間)

(3) 休養日：水曜日・日曜日

(ただし、日曜日が大会の時は月曜日を休養日とする)

(4) 年間活動予定

学期	月	内 容
1学期	7	通常練習
	8	杉並区3年生代替え大会 ユニフォーム作成(7年) ユニフォーム回収・ゼッケン張り替え(8年) 夏季休業中 基礎体力練習 新体制づくり
2学期	9	ユニフォーム配布
	10	杉並区新人大会
	11	
	12	冬季休業中 練習及び練習試合
3学期	1	杉並区春季大会
	2	
	3	春季休業中 練習及び練習試合

(5) 参加予定大会

公式戦：区大会(春季大会、新人戦)